

学校だより

校訓「自律」「友愛」「勤勉」



まつのりくん(則中キャラクター)

2学期がはじまりました!

今年の夏は連日厳しい暑さが続きましたが、生徒たちは元気に登校し、新たな学びの第一歩を踏み出しました。

始業式では、「**自律**」についてお話ししました。自律というのは、誰かに言われたからやるのではなく、**自分で考え、自分で「よし、やろう!」と決めて行動すること。そして、その結果に責任をもつこと**です。

自分の意思を決め、自分の言葉にするとき、意見が食い違い対立が起こることもあるかもしれませんが、互いを尊重し合いながら、「より良い答え」を一緒に探していくことも自律の大切な姿です。

実り多い2学期となるよう、学校でも子どもたち一人一人の成長をしっかり支えてまいります。

平和な社会をつくるために、私たちができること

今年は、**戦後 80 年の節目の年**です。

昨年、ノーベル平和賞を受けた日本被団協代表委員の田中照巳さん(93歳)は、長崎の爆心地から約3.2km離れた市内で被爆しました。当時13歳だった田中さんは、「ピカーッと、ものすごい光だった。死の恐怖を感じて1階に駆け下りると、周りの色が変わっていった」と語っています。(中高生新聞より～核兵器をなくすために考えて～)

今も世界には、1万2千発以上の核兵器があり、その脅威はなくなっていません。では、核兵器のない平和な社会をつくるために、私たちにできることは何でしょうか。

まずは、被爆者の証言を積極的に聞き、当時の出来事や思いを知ること。

そして、**自分の考えを家族や友だちと話し合い、意見を交わすこと**。

身近なことで言えば、学級や学年、学校、地域などで「平和でいたい」とみんなが望むなら、その思いに合意し、手段は暴力や相手を攻めることなく、**対話して平和的に解決**することが大前提です。

平和は、誰かがつくってくれるものではなく、一人ひとりの思いや行動から始まります。

私たちも、小さな一歩から踏み出していきましょう。

図書室にあるおすすめの本『カフネ 著者：阿部暁子 講談社』



「カフネ」とは、相手の髪をやさしくなでる仕草を表す言葉だそうです。この本には、人と人との理解し合い、支え合おうとする気持ちがあたたかく描かれています。

私たちは誰もが自分以外の人の心を完全に知ることはできません。そ

カフネ本

れでも相手を思いやり、違いを受け入れることで、つながりは深まります。登場人物の姿からは、**多様性を認め合うことや、自分らしく生きる勇気**の大切さが伝わってきます。読み終わると、身近な家族や友人をもっと大切にしたいと感じられる 1 冊です。ぜひ図書室で手に取ってみてください。

6 組 学校菜園の整備と新しい野菜の栽培を準備

生徒たちの学びや生活に身近な自然を感じられる環境づくりの一環として、6 組生徒が畑の草取りや土づくりを行いました。新しい野菜を植える準備を整え、水やりや観察を通して、生長の様子を学んでいきます。



教職員スクール救命救急研修会を実施しました

本校の教職員は、子どもたちの安全・安心を守るため、スクール救命救急研修会を受講しました。心肺蘇生法や AED の使い方、緊急時の適切な対応などについて、実技を交えながら学びました。研修を通して、日ごろから安全意識を高め、迅速で落ち着いた対応ができるよう努めていきます。

これからも学校全体で「安心して学べる環境づくり」を大切にしていきたいと思います。



1・2 年生の水泳授業

1, 2 年生の水泳授業は、共立大学の温水プールをお借りして実施しました。安全面に十分配慮しながら、広い環境の中で学習することができました。はじめは水になれることから始め、ビート板を使っのけ伸びやバタ足など、段階に応じた練習を進めました。生徒たちは回を重ねるごとに水に親しみ、自信をもって泳げるようになってきました。



プールをお借りできたことに感謝し、今回の学習を通して「水の事故から自分の命を守る力」と「体を動かす楽しさ」を実感することができました。